



ストラテジストの視点

秘波塾

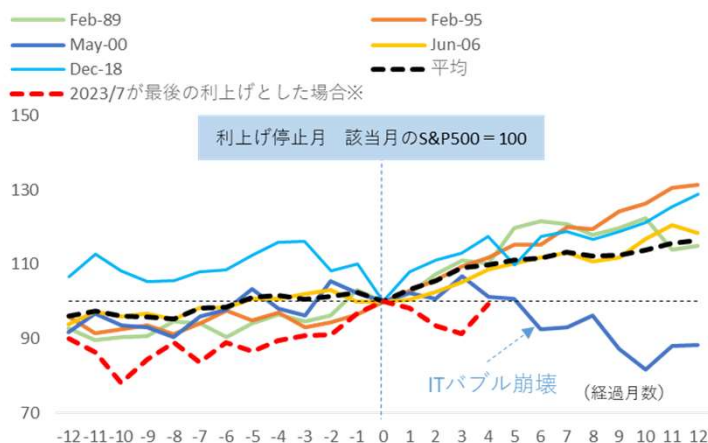
Vol.09 2023.11.24号

米利上げ停止後に米日株、米金利はどうなる？

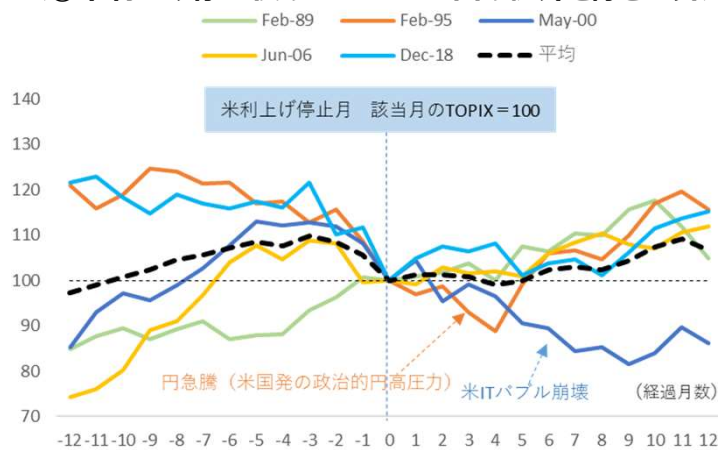
◆利上げ停止後の米株と日株の行方は？

- 1989年以降の利上げ停止月を起点に均すと日米株は上昇したのが過去のスタディ(図表①②の黒点線グラフ)
- 例外は米国株で1回(2000年: ITバブル崩壊)、日本株で2回(1995年: 米国発の政治的円高圧力 2000年: ITバブル崩壊)
- これら例外は割り引いて考える必要があります。⇒今局面は過去のセオリー通りに利上げ停止後は上昇継続では？
- 今局面では12月の利上げ織り込みは後退していますので、今年7月が最後の利上げだったかもしれないです。
- そのケースが図①赤点線グラフであるが、今後も上昇が期待されます。

<①米利上げ停止後のS&P500は1回の例外を除き上昇>



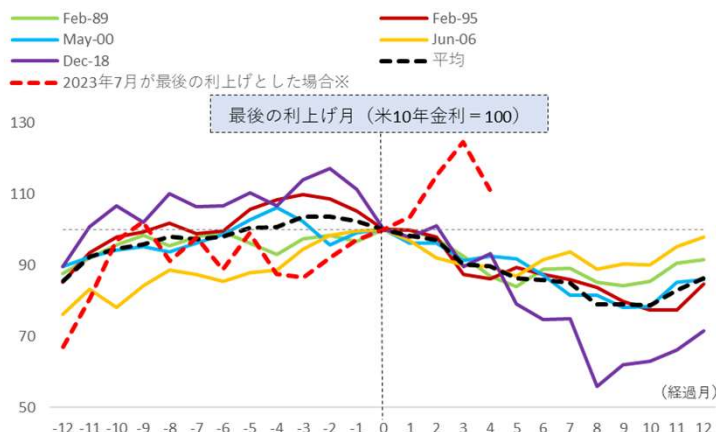
<②米利上げ停止後のTOPIXは2回の例外を除き上昇>



◆利上げ停止後の米金利の行方は？

- 1989年以降の利上げ停止月を起点に均すと米金利は低下基調を辿ったのが過去のスタディ(図表③)
- 今局面では12月の利上げ織り込みは後退しているので、今年7月が最後の利上げだったかもしれません。
- そのケースが図③の赤点線グラフであるが、今後は金利低下が期待されます。
- 過去を見ると利上げ停止月以降は全ての期間で利上げ停止月の10年金利水準を下回りました。(図表③)
- 今年7月が最後の利上げだったとしたら当時の10年金利は約4%だったので、この先の金利低下目途は4%割れも視野に入ります。

<③米利上げ停止月を起点に米10年金利は低下>



(図表①～③)

Bloombergのデータを基にニッセイアセットマネジメント作成

※直近値は11/22の終値を使用

※本稿に記載された意見、推定、見通しは、本稿の日付時点における執筆者の分析・判断に基づいています。それらは必ずしもニッセイアセットマネジメントの意見を反映しているとは限らず、また予告なしに変更される場合があります。



ニッセイアセットマネジメント株式会社



【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等： ニッセイアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者
関東財務局長（金商）第369号
加入協会： 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>